



●企業DATA  
 ●所在地/大分市古ヶ崎2丁目12番8号 〒870-0935  
 ●建設業者許可番号/大分県知事許可(般-8)第9406号  
 ●宅地建物取引業者免許番号/大分県知事免許(3)第206号  
 ●創立/昭和62年

# 自信を持って宣言!!「私たちは、希望を超える住まいづくりを約束します」。

フリープラン  
 (有)住宅企画

●ホームコネクターパネル工法  
 在来工法(木造)

問合せ先 ☎(097)552-8815



●今津留のHCP工法で建てた家。



●錦町のS邸。



●錦町のT邸。

「ホームコネクター」が  
 在来工法の限界を解決します

大規模な地震が世界各地で発生している昨今、より安全で、より高品質の住まいづくりが求められていることは、言うまでもありません。先のトルコ大地震の調査団の一員である大分大学の教授は、検証の結果、「柱だけでなく、面である壁構造で支えることの重要性を痛感した。」ということでした。そこで、自信を持ってご紹介するのが、「ホームコネクターパネル(HCP)工法」です。

HCP工法とは、一言で言えば、柱とパネルを一体化させた工法。つまり、在来工法と2×4工法の長所をひとつにしたハイブリッド工法なのです。HCP工法は、木造建築の合理化(コストダウン、工期の短縮、強度・剛性アップ等)を目的として開発された技術で、この工法には、ベースとなるホームコネクターが必要不可欠です。特許であるHCP工法を用いることにより、中小の工務店でもシステムが確立されると同時に、性能面、設計面、施工面、価格面において、さまざまなメリットが生まれます。



●モデルハウスを兼ねた本社では、HCP工法のメリットや、備長炭製品を確認できます。



●HCP工法で空間設計も自由自在。

在来工法の10倍以上の耐震性と柱なしの大空間を実現

まず一番のセールスポイントは、何と言ってもその耐震性の高さ。住宅の構造の強度を表す手法として、「壁倍率」がありますが、この倍率が高いほど、耐震性が高くなります。在来工法が1・5倍、2×4工法は25倍であるのに対し、HCP工法では片面パネルで3・8倍以上。剛性においては、在来工法の10倍以上の耐震性を持っています。

他の工法では、1階に多くの柱や壁が必要のため、間取りや増改築に制約がありますが、HCP工法では、柱なしの大空間(7×10・6×11m)が作れるため、完全バリアフリーが可能。屋根裏・全階床下収納可能。跳ね出しベランダのオプション可能など、生活重視の設計が可能。家族の成長に合わせた間取りができる可変空間を実現しています。



「備長埋炭」で家相エネルギーを高め住まいを活性化

「備長埋炭」とは、300kg(店舗、事務所などは500kg)の炭を埋めるというもの。調文以前の文献にも記述があり、神社仏閣や住まいなどに古来から利用されてきました。埋炭による炭の持つ調湿作用で、結露防止、シロアリ・ゴキブリ・ダニなどの害虫の防除、土台や床板の腐食防止など、家屋の耐久性が高められます。また、脱臭効果で悪臭がなくなり、有害な揮発性成分が除去され、空気が清浄化。調湿効果と遠赤外線効果で、夏涼しく、冬暖かい。地磁気を整える作用など、効果は多岐にわたって発揮されています。



有毒な薬品を一切使わず「チャコガード」でシロアリの防御

通気性・透湿性に優れた、高分子系樹脂に、備長炭の粉末と、天然材の青森ヒバから抽出したヒノキチオールが含有されたヒバ精油を配合し、抗菌性と害虫防除性を高めた画期的な備長炭パウダー塗料が「チャコガード」です。

埋めるというもの。調文以前の文献にも記述があり、神社仏閣や住まいなどに古来から利用されてきました。埋炭による炭の持つ調湿作用で、結露防止、シロアリ・ゴキブリ・ダニなどの害虫の防除、土台や床板の腐食防止など、家屋の耐久性が高められます。また、脱臭効果で悪臭がなくなり、有害な揮発性成分が除去され、空気が清浄化。調湿効果と遠赤外線効果で、夏涼しく、冬暖かい。地磁気を整える作用など、効果は多岐にわたって発揮されています。

しかもその効果は、埋炭一つに対する半徑15m、それも1階だけでなくその上の建造物すべて(40階建てでも)に及び、年々次第に増していきます。

驚異の炭パワー

安全、環境、健康を考え、備長炭を住宅建材として利用しました。

「備長敷炭」は家族みんなの健康への第一歩

敷炭は、「エネルギー炭」と呼ばれる備長炭を、床下施工に便利なようにに袋詰めしたものを、床下に敷き詰めるという方法です。

炭の電子作用で、人やモノの還元力に効果のあるマイナスイオンが発生し、さわやかな居住空間が半永久的に続き、快適な暮らしや健康に役立ちます。また、埋炭と同じ効力があります。基礎工事前に施工される埋炭に対し敷炭は、既設建物にも施工できるという利点があります。



驚異の「炭パワー」

「ヒュア炭」

ヒュア炭は、袋に備長炭の粉末を充填し、幅50cmのロールシートにしたものです。壁の下地材、2階床下の下地材として、ヒュア炭を、壁や床、天井の中に敷き込めば、室内の湿度調整、内部(壁内)結露防止と構造材の腐朽防止、畳の乾燥防止、カビやダニの発生防止に効果があります。また、マイナスイオン効果で室内はいつも快適です。

その他、粉末を不織布に染み込ませシート状にした「備長炭畳」は、畳表と床材の間に敷くことで、薬剤を使わずに防虫でき、室内環境を快適に保ってくれます。